



東京八王子プロバスクラブ

創立 1995 年 10 月 18 日

2022～2023年度 テーマ

プロバスライフを元気に楽しむ すこしずつ動きだそう

プロバスだより

第330号

2023年5月11日発行

編集・発行：情報委員会

第 330 回 例会

日 時 令和 5 年 4 月 13 日 (木) 12:00～13:45

場 所 八王子エルシィ

出席者 34 名 出席率 72 %

(会員総数 51 名、欠席 13 名、休会 4 名)

1. 開 会 野口例会委員長

第 330 回例会の開催を告げ、配布資料の確認。

2. 会長挨拶 池田会長

皆様今日は。暖かい季節になり、外出がし易くなってきました。ご出席ありがとうございます。

先ずはお礼を申し上げます。去る 19 日に開催されました小・中学校音楽祭は皆様のご協力で盛大に開催することができました。有難うございました。

今日はまた、大変うれしいことに新しい会員として河西成幸さんをお迎えすることができました。ご活躍をご期待申し上げます。

本日の卓話は音楽に造詣の深い岩島会員のお話です。岩島会員のお話に期待し、しばし心遊ばせる一時を持ちたいと思います。

3. ハッピーコイン披露

持田副会長からハッピーコイン 15 件が披露された。(3～4 ページに掲載)

4. パースデーカード贈呈

4 月生まれの佐々木研吾会員、塩澤会員、内山会員、井上会員、池田会員に会長手作りのパースデーカードが贈られた。



井上会員、塩澤会員、池田会員、内山会員

5. 4 月のラッキーチャンス

今月のラッキー会員は深谷会員、河合会員、土井会員の 3 人でした。

6. 卓 話

岩島寛会員による卓話『「音楽の力」は国境を越えて』の概要は 4 ページに掲載。

7. 幹事報告 持田副会長・代行

・本日新会員として河西成幸さんが入会されました。先ほど紹介されましたが、是非暖かく迎えたいと思います。早く当クラブに慣れて、豊富な経験を生かしてご活躍して頂けることを期待致します。よろしくお願い致します。

・去る 3 月 19 日に後半期の最大の事業である音楽祭が開催され、無事に終了致しました。馬場委員長はじめ皆様のご協力に感謝いたします。また、協賛いただきました環境管理センターさんには心からの御礼を申し上げます。詳細については馬場委員長からの報告があります。

・コロナ禍も収まりつつあり、当クラブの活動も平常に戻ってきております。各委員会や同好会の活動

が積極的に動き始めております。是非多くの会員が参加をすることで楽しいクラブライフを過ごすよう希望します。

8. 各委員会からの報告

(1) 情報委員会

河合委員長

・プロバスだより第329号を配布。今月の担当は内山委員。卓話原稿など4ページにまとめた。

・3月19日に開催された「八王子市立小・中学校音楽祭」の記録を2ページに特集。本誌に折り込み6ページとした。

・3月のホームページへのアクセス件数は453回。2月に比べて倍増した。今後ホームページの内容についてはより充実を図ってゆきたい。

(2) 会員・研修委員会

杉山委員長

・新入会員のご紹介(杉山)

本日の例会からお仲間になります河西成幸氏でございます。氏は昭和25年生まれの73歳、河西工芸株式会社の代表取締役でございます。西ロータリークラブに35年在席を区切りにリタイアしましたので、プロバスクラブにお誘いしました。



(河西新会員を紹介する杉山委員長)

氏は大変熱心なボランティア活動家で、八王子ビル防犯連合会長としてご活躍中でございます。どうぞ皆様よろしくお願い致します。

・河西新会員の委員会所属は「会員・研修委員会」となります。会員名簿への挟み込み資料を会員ボックスに入れておきました。当年度の名簿に追加貼付をお願い致します。

・老年研究会4月27日のご案内を、先月に引き続き登録会員ボックスに入れておきました。なお、本日全会員さんのお手許にお届けしてある東京都発行のACP(アドバンス ケア プランニング)「わたしの

思い手帳」と「わたしの思い手帳 書き込み編」の2冊は、齋藤会員が東京都から取り寄せてくれた老齡期対応の貴重な資料です。それぞれ老齡研究のお手許で活用いただければ幸いです。齋藤会員のご尽力に改めて厚く御礼申し上げます。

(3) 地域奉仕委員会

馬場委員長

① 3月19日(日)開催の「八王子市立小・中学校音楽祭」は、外部から見たマクロな視点(ご来賓の感想などから)では好評を得て無事終了することができました。これはひとえに25名の会員と5名のボランティアネットワークの皆様の現場対応力のおかげであります。改めて御礼を申し上げます。

一方、当日の受付、控室管理、出場校誘導、会場管理、ステージマネージメント等では事前準備や相互連携に齟齬があり、担当頂いた皆様の臨機応変の対応でなんとか凌いだという面が多くありました。本例会後に内部管理上の諸課題について部門責任者からご意見を頂き、次に生かしたいと思っております。なお受付担当からの情報では、出演者を含む入場者総数は約810名でした。

②「音楽祭」の開催を通して、本市の小・中学校では吹奏楽系の活動は活発かつレベルも高い事、既に吹奏楽を応援する企画が毎年行われている事が判りました。一方、合唱については極めて低調であることも理解出来ました。従って、我がクラブが八王子市における音楽環境の育成に貢献できるとすれば、それは「合唱部門」であると思われ、今後はその方向に的を絞って“新しい理念を掲げる事”が必要と考えます。

③ 28期の「音楽祭」は、2024年3月20日(水・祝日)、南大沢文化会館にて開催予定です(いちようホールは改修のため休館)。私達にとっては、遠くかつなじみが少ない会館であること、「合唱」の応募校が集まるかなどは新しい課題だと捉えています。

④ 5月23日(日)の「食と健康フェスタ」受付業務を8名の会員にお願いしました。

ご苦勞様ですが、よろしくお願い致します。

(4) 交流担当

一瀬担当理事

今回覧している全国各地のプロバスクラブの会報「プロバスだより」ですが、現在15のクラブとやり取りしています。クラブの活動や会報の体裁などにはそれぞれに特徴があり、何かと勉強になります

ハッピーコイン

し、いろんなコメントを通じて誌上で交流ができ毎月が楽しみです。皆様にゆっくり見ていただく時間はありませんが、後ほどお貸しすることは可能ですので必要ならお申し出ください。

9. 全日本プロバス協議会 一瀬幹事長

先月の五所川原プロバスクラブに続いて旭川プロバスクラブの例会に田中会長とお邪魔して交流を深めてまいりました。「なんでこの寒い2月、3月に青森や北海道に」と不思議に思われるでしょうが、実は五所川原には来年の大会の開催を、旭川には来年からの次の全日本の会長をお願いするという大事なミッションがありました。

次の第11回全日本の総会・大会の開催を五所川原プロバスクラブに快諾していただき、2024年8月8日に決まりました。立佞武多の観覧が目玉です。

また来期の全日本の会長・幹事長を旭川プロバスクラブで引き受けていただくことも、つい先だっの先方の理事会で決定していただきました。いずれもこれから全日本内部の理事会などで正式決定することになりますが、いずれにしても懸案事項が一段落いたしました。

10. プロバス賛歌斉唱



11. 閉会 持田副会長

・本日は新入会の河西成幸会員をお迎えできて嬉しく思います。今後のご活躍を期待します。

・先ほど、馬場委員長から報告がありましたが、音楽祭は成功裡に終わりました。今後は形を変えていくことになるようですが、引き続き会員の皆さんにはご協力をお願い致します。

・卓話では、岩島会員の「音楽の力」の素晴らしい話を聞きました。鳴門の捕虜収容所の優れた所長の「武士の情け」が日独の關係に大きな影響を与えたことを改めて知りました。ありがとうございました。

◆4月4日 旅の会で「屋形船で隅田川の桜を見ませんか」ツアーに参加。青空のもと名残の桜、船旅で楽しいひと時でした。 有泉 裕子

◆「はばたけ音楽祭」(3月19日)小中学生の演奏に元気を頂きました。スタッフの皆さんお疲れさまでした。 有泉 裕子

◆「音楽祭」(3月19日)は、皆様の現場対応力によって、何とか完遂できました。

感謝!感謝! です。 馬場 征彦

◆3月19日の音楽祭は無事成功裏に終了。裏方のスタッフ、その他すべての会員の協力のおかげです。大変ご苦勞されたご担当の方にはお疲れ様でした。と申し上げます。 飯田富美子

◆WBC 野球観戦、高校野球観戦は大いに楽しませていただきました。日本の優勝、山梨学院の優勝は最高でした。 飯田富美子

◆池田会長の誕生月を祝ってワンコインを!!

野口 浩平

◆本日例会より新しいお仲間として、河西成幸氏が加わりました。皆様どうぞ末永くよろしくお願ひ致します。 杉山 友一

◆「ヴァンホーレ甲府」のサッカー天皇杯優勝に続いて春の甲子園高校野球で山梨学院が優勝。弱小県ですが、ふるさと山梨勢の活躍にハッピーです。

一瀬 明

◆コロナ禍の影響で延期されていた高校最後の同期会が「プレ米寿の会」として四年振りに来月開催されます。級友と会えるのが楽しみです。

内山 雅之

◆WBC 優勝バンザイ!そのチームワークにカンパイ。 浅川 文夫

◆春のうららの隅田川!桜満開の景色を眺めながらの屋形船遊覧は、天気も良く春を満喫しました。立川さんありがとうございました。 岩島 寛

◆立川会員企画の「隅田川屋形船」を楽しんできました。東京日野プロバスからの参加もありいろんな方々と交流できました。 一瀬 明

◆音楽祭 無事に終わりました。みなさまのご協力に感謝致します。 池田ときえ

◆本日は新会員の河西成幸さんの入会に心から歓迎とお喜びを申し上げます。当クラブには早く慣れて頂き豊富なご経験を生かされてご活躍されることを希望致します。

入会おめでとうございました！ 持田 律三

◆最近、春の良い日が続いております。現在英国に住んでいる娘家族が帰国していますが、日本の天気を英国に持って帰りたいと言っております。

昨夕庭に水撒きしました。今朝それぞれの花がピンと元気に立っております。養分を与えれば必ず元気になります。

我々にとってはクラブ活動が養分です。お互いに養分をとり合いながら元気にhappyになりましょう！ 持田 律三

4月例会の卓話

「音楽の力」……は国境を越えて

岩島 寛

ロシアがウクライナに侵攻して1年2か月が過ぎようとしていますが、終戦の兆しは全く見えてきません。戦争の恐ろしさと愚かさを日々感じる中で、ふと思い出したのが板東俘虜収容所の心温まる史実であります。



1914年、第一次世界大戦で日本軍に降伏した中国青島のドイツ兵4,600人が捕虜として日本に連行され、その内の1,000人が徳島県鳴門市にある板東俘虜収容所に収容されました。鉄条網の中で囚われの身として暮らすことになりながら、しかしそこで「歓喜の歌（ベートーヴェンの交響曲第九番）」を歌うに至った彼らの数奇な運命と、そこから日本に根付いたドイツ文化の史実であります。その要約を記します。

武士の情けと博愛の精神

「日本にドイツ文化の種をまいた」

板東俘虜収容所の奇跡

板東俘虜収容所の所長は、陸軍のエリート街道を進んできた44歳の松江豊寿であったが、彼は戊辰戦争で敗れた会津藩士の子として、降伏した者の

屈辱と悲しみを目の当たりにして育った苦労人でもあった。捕虜という存在の理不尽と悲しみを真に理解する松江は、捕虜を迎えるに当たって、「武士の情け、これを根幹として俘虜を取り扱え」と部下に伝えた。ドイツ兵捕虜は収容所内では見張りもつかず、自由の身となり、生産労働や文化活動が許可され、経済・政治学からウイスキー、ビール醸造、ソーセージやパンの製法、楽器演奏の指導まで、ドイツ兵捕虜の中には各分野の専門家がいた。

ドイツ兵捕虜は松江所長への信頼と板東の人々に対する親愛の情を深め、1918年6月11日には、収容所で結成されたヘルマン・ハイゼン楽団によって、ベートーヴェンの交響曲第九番が合唱付きで全曲演奏された。

今では年末の恒例となっている「第九」の演奏だが、日本で最初に全曲演奏されたのは、ここ板東収容所の小さな一室での不完全な、しかし心からの「歓喜の歌」だった。

私が卓話の題名を「音楽の力 国境を越えて」としたのは、ドイツ軍捕虜たちが「故郷を偲ぶ歌」とか「悲しみの歌」を歌うのではなく、「歓喜の歌」を、しかも第九全曲を合唱付きで演奏したことに、深い感動を覚えたからであります。これを目の当たりに聴いた鳴門の人々の感動は如何程であったことか。その感動が語り継がれ、今日まで大晦日に恒例のごとく演奏されているのです。これこそ国境を越える音楽の力であります。この音楽の力を引き出したのは、松江豊寿収容所長の武士道精神によるところが極めた大きかったのであります。



ご注意～サポート詐欺

—パソコンがウイルスに感染—

橋本 鋼二

2023年3月2日午後、パソコンを開くといつもと違う画面になっている。ハッカーによって「トロイの木馬」というウイルスソフトが組み込まれたらしい。対応策としてマイクロソフトの名前の入った連絡先の電話番号が出ていた。マイクロソフトはパソコンに不可欠のソフトを出している会社である。全

く疑うことなく、050 で始まる番号に電話した。

アジア系外国人らしい語り口の女性が出たが、話す日本語がよくわからないので、誰か話のわかる人と言ったら男性に変わった。この人の語り口も同様でわかりにくかった。彼らは私の姿が見えているようで、相手はこちらを見ながらパソコンの操作をいろいろと指示しはじめた。ここで、やっかいなことになっていると思い、妻緑にそばに来てもらい相手の話を聞きながらパソコン画面を眺めた。パソコンに入っている文書・データが読まれているので、お金を引き出すことができるなどと脅された。さらに、ウイルス駆除・修復のための費用と修復後の保守管理に年いくら、合わせてざっと十万円ほどかかるが今後パソコンをウイルスから守れるといった話が出た。支払いは近くのコンビニでグループカードを買えばすむと言う。そこまで聞いたところでいかがわしいと思い、検討すると言って電話を切った。その後何も言ってこない。

時も時、翌朝緑がラジオを聞いていると、全く同じ手口の詐欺で被害を受けた人がいるという東京新聞の記事が紹介されていたので、早速その新聞をコンビニで購入。まさに、記事通りの手口であった。

“サポート詐欺”と言うらしい。050 で始まる番号で知らないところからかかってきた電話は要注意、応答しないで、パソコンを通常の順序ですぐに切ることが対策。あわてて緊急停止させない。こちらから応答しなければ何もできないそうである。

新手な詐欺グループを儲けさせることはなかったが、パソコンのウイルスを除く必要があり、修理業者に修復を依頼した。あちこち汚染されていたので、初期化せざるを得なくなった。業者の話ではこの種の被害での修理依頼が増えているそうだ。

パソコンのウイルスは駆除されたが、パソコンが使い慣れた（カスタマイズされた）状態に戻ったわけではなく、不便を託っている。腹の立つ話だが、詐欺グループには一円たりとも払っていないのがせめてもの救いであった。みなさん、新手の詐欺にも気をつけてください。



クラブ活動だより

花吹雪 隅田川ゆく 屋形舟

下山 邦夫



2023年4月4日 楽しかった！ 夢のような時間を過ごさせてもらいました。兩岸に花が満開、散り始めている、スカイツリーさえ古めいて見えるなど新鮮な驚きの景色でありました。不参加の方にこの楽しさをお伝えするのは

記者の言葉の能力では無理です。この計画を立てたお方は花咲…さんでしょう。

行事が立て込んで忙しい4月にこのような息抜きイベントを満足いく形で実施できるお方なんてネ。魔法使いでしょう。

午後の舟なので午前中に蔵前の船着き場に集合

でした。屋形舟が特に花のあるところを上り下りしながら船内で調理した東京湾の美味食材で昼食。スカイツリーをまともに後景として水と花を前景に、甲板に出てパチリ、皆さん美人か好々爺・・・

こんなことを並べては読者はがっかりでしょうから、以上で終わりにします。勿論アルコールとカラオケつきでした。尚八王子プロバスクラブ…日野プロバスクラブ以外の顔見知りのお友達も多数いらっしゃいました。



古典芸能鑑賞会 能と狂言の鑑賞

池田ときえ

今回の参加者は6名。4月23日に国立能楽堂において「観世九阜会別会」が開催され、能「住吉詣」「望月」、狂言「二人袴」などをじっくりと鑑賞。ひととき別世界に浸りました。



「住吉詣」は源氏物語の滯標の巻、住吉神社での光源氏と明石の上の再会を題材にした演目で、出演者が10名という賑やかさ。華やかな衣装や小道具が舞台に溢れます。

「望月」は仇討ちものですが、よく修練を重ねた子方の活躍が目立つ一幕でした。

狂言「二人袴」は一枚の袴をめぐる親子の喜劇、会場は笑いに包まれます。

重鎮観世喜之氏の仕舞、ベテランの連吟も味わい深く、印象深い良い一日になりました。



〈一口メモ〉

ゴールデン・ウィークのこと

ゴールデン・ウィークの由来を調べてみると、日本映画界の造語(和製英語)という説がありました。

昭和26年(1951年)の5月連休期間中に上映された映画がお正月やお盆よりも興行成績が良かったことから、ラジオの聴取率の高い時間帯(午後7時から10時まで)を「ゴールデン・タイム」(これも和製英語)と呼んだことに倣って名付けられたとのことです。(情報委員会)

俳句同好会便り

私の一句〈四月の句会から〉

河合 和郎

世の中の動きがようやく日常を取り戻しつつある。句会は相変わらず賑やかそのもの。老化の防止に役立っていること間違いなし。今後とも健康俳句を楽しんでゆきたい。

花満開背中を押され新治療

馬場 征彦

桜の花に勇気づけられて新治療を受ける決心ができた。気の力は大なり。好結果を祈りたい。

小さき庭埋め尽くして落椿

野口 浩平

庭一面、椿の花で埋め尽くされている。「咲いて良し、散りてまた良し」の椿の花への賛辞。

五感外れ患者増えたり首都卯月

東山 榮

コロナが終焉したような昨今だが、まだまだ新規感染者も発生している。高齢者は特に用心が。

風立ちて野面騒がず春時雨

矢島 一雄

一陣の風雨が野面を騒がす。春はまだ厳しい顔を見せる。そんな季節の移ろいをうまく詠んだ。

崩れてはまた寄り添ふて春の雲

池田ときえ

千変万化の雲の様子から変わり易い春の季節を描写。優しい言葉遣いで春の一景が描けた。

野遊びや松葉相撲の車椅子

田中 信昭

子供時代の遊びを今は車椅子となった友達と懐かしんでいる。誰もがやった松の葉での遊びを。

スーパーの棚こぼれそう春野菜

下山 邦夫

これは上手い句。スーパーの野菜売り場に春を見つける。中七の「こぼれそう」の措辞がいい。

春空に球児の校歌響きたり

飯田富美子

山梨県勢が春の選抜大会で優勝。作者の喜びが満載の一句。感動をそのまま俳句にする醍醐味。

水溜り手の平ほどの花筏

河合 和郎

「花筏」とは桜の花が水面に散って覆いつくす光景を言う。小さな水溜りにも小さな花筏が……。

編集後記：岩島さんの卓話に感動しました。クラブ活動も再開されました。これからもクラブの交流がより活発になることを期待しています。

情報・有泉